

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	341,830円		助成金充当額	83,100円
事業対象者	自主防災会、自治会連合会 藤山小・中学校他		参加人数	研修会 90名 防災金連 945名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・藤山中学校区防災訓練 ・研修会(地域災害リスク及び避難体制づくりについて)			
事業目標	・厚東川水系ハザードマップ更新 ・小、中学校、地域住民との合同避難訓練による地域の防災意識向上			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	・防災訓練参加人数 ・研修会参加人数	・1,000名 ・90名	・889名 ・74名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大を考慮しながらも、各事業に対して広く参加者を募ることができた。			
事業効果	・防災訓練では、小、中学生の避難行動について、機敏に対応ができ感心した。 ・研修会では、率先した避難・呼びかけ避難の体制づくりの進め方を学び、単位自治会ごとに自主防災への意識や関心、訓練の見直し等も必要と感じた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・防災訓練は全地区民を対象とすることがベストだが、できれば自治会単位又は大部落単位、避難場所単位での訓練を計画することが必要である。 ・研修会を継続的に開催し個々の防災意識を高めたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区老人クラブ連合会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	203,820 円		助成金充当額	176,220 円
事業対象者	藤山地区内65歳以上		参加人数	400人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・高年者学級10回開催 ・老人クラブ活動(健康舞踊40回、健康体操24回、シニア健康教室12回) ・社会教育推進委員会、社会福祉協議会への助成			
事業目標	・宇部スポーツ大会、藤山地区老人スポーツ大会			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	高年者学級	300名	250名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・市や地区のスポーツ大会はコロナ対策のため中止となった。 ・高年者学級は募集人数には達しなかったが、概ね一定の成果を残した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事の中止はあったが、屋内で可能な健康体操は継続し健康づくりに意欲的に取り組めた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・高齢化が進行し参加者が限定的になっている。 ・活動のPR不足がある。藤山地区にどのように活動を行っているのか浸透させるかが課題である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区 社会教育推進委員協議会

事業名	3	地域学校事業			
事業期間	令和4年4月～令和5年3月				
決算額	40,000円		助成金充当額	30,000円	
事業対象者	全地区民、大学、高校、中学校		参加人数	130人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・高齢者を対象としたスマホ教室開催(88人)				
事業目標	数値目標		令和4年目標	令和4年実績	
	スマホ教室		2回開催	3回開催	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・スマホ教室は大変好評であったため、予定回数より1回多く開催した。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域住民と中学生、高校生、大学生との交流づくりができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・スマホ教室を年3回程度開催して欲しいとの要望がある。現状予算では不足するめ予算の見直しが必要である。 ・コミュニティ事業へのボランティア派遣事業を行いたい。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		①	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区社会福祉協議会

事業名	4	社会福祉事業			
事業期間	令和4年4月～令和5年3月				
決算額	732,700円		助成金充当額	354,700円	
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	583人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・70歳以上を対象とした日帰り旅行への助成 64人 ・80歳以上の高齢者世帯への弁当配布事業 420人 ・藤山小学校新入生へ入学記念品の贈与 79人 ・食講座開催 20人				
事業目標	数値目標			令和4年目標	令和4年実績
	・日帰り旅行参加者数		・70人	・64人	
	・高齢者世帯への弁当配布数		・420人	・420人	
・藤山小学校入学児童数		・100人	・79人		
・食講座参加者数		・20人	・20人		
(達成できた、又は、できなかった要因) ・すべての事業を実施することができた。					
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・何らかの支援を必要とする方に対し、近所に住む住民が支えることで、誰もが住みよい地域となっていく。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域での福祉活動等に関心を持っている方は多くいるが、再雇用制度の活用などにより高齢になるまで働き続ける方が増えている。そのため、退職後に地域のボランティア活動等に積極的に取り組もうとする方は少ない。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区
コミュニティ運営協議会

事業名	5	コミュニティ運営事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	1,800,267 円		助成金充当額	547,387 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	2330人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・藤山だより 月1回発行 ・藤山ふるさとまつり(1400人) ・ウォーキングラリー(70人) ・藤山地区運動会(500人) ・三世代交流輪飾り作り(30人) ・さくらまつり(300人)			
事業目標	・新型コロナウイルス感染状況や感染拡大防止対策を講じ、事業の規模や内容を工夫し開催する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	藤山地区民	6事業の開催	6事業開催	
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・地区行事について、新型コロナウイルス感染拡大対策を講じながら規模の縮小や内容を変更し、コロナ前の内容にできるだけ近づけるよう工夫したことで、参加者も多く楽しめる行事ができた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・新型コロナ感染対策による活動制限はあったが、行事を行うことで参加者も昨年より上回り、地域交流が盛んになった。 ・行事に対する地区民の熱意が高く、子どもから高齢者まで多くの方が行事を楽しむことができた。 ・地区内の中学、高校、大学の学生たちが、ボランティア活動として行事参加が活発になった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・事業内容をコロナ禍以前の規模で活動していく。 ・幅広い年齢層でのコミュニティ活動の参加を促す。 ・役員の高齢化により活動事業の継続が問題となっている。若年層の担い手を増やし、地域住民と協力し事業の維持や活性化を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区体育振興会

事業名	6	体育振興事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	358,580円		助成金充当額	183,980円
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	競技 350人 会議 200人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・市ソフトボール(15人)、市バレー(15人)、市ソフトバレー(21人)大会参加 ・市大会への出場チーム決めの予選会実施 ・地区インディアカ大会(35人)実施 ・ウォーキング講習会(53人)			
事業目標	・コロナ禍によりチーム数を抑えて実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	コロナ禍前の60%	80%	70%	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・300歳ソフトボールは雨天により中止。 ・コロナにより参加者減少。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ感染対策として、ソフトバレー、インディアカは練習期間を設けて練習実施した。1回30人で20回練習を実施し、延べ600人が練習できた。 ・ウォーキング講習会後に1か月間の散歩数を競った。参加者も多く、運動意欲への効果があった。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 宇部市交通安全協会
藤山分会

事業名	7	交通安全事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	311,600円		助成金充当額	131,600円
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・交通安全週刊早朝立哨(3回 春、夏、秋) ・小学1年生交通指導 ・藤山小学校入学式手伝い(通学路確認と記念品贈呈) ・小学4年生自転車教室、乗り方指導 ・婦人部交通講習会 ・4分会活動 ・藤山コミュニティ地区運動会、ふるさとまつりの交通整理			
事業目標	・新型コロナウイルス感染状況を把握しながら事業を行う。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	7事業実施	6事業実施	7事業実施	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍にもかかわらず、役員の早朝立哨の参加が多かった。 ・コロナ禍出の状況判断を行いながら、安全協会や分会行事の活動を再開できた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コミュニティ事業の協力について、交通整理への負担が大きいため実施方法の検討が必要。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区
子ども会育成連絡協議会

事業名	8	子ども会連絡協議会事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	109,916円	助成金充当額	72,236円	
事業対象者	藤山小学校子供会会員及び 学校募集の会員とその他希望者	参加人数	127人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・藤子連ドッチビー大会(7/17 藤山小学校体育館) ・宇部市子連ドッチビー大会(8/6 俵田翁記念体育館) ・緑日レクリエーション(11/5 藤山小学校体育館) ・藤子連ポッチャ体験会(11/5) ・霜降山登山(12/30) ・藤子連ボウリング大会(2/12 ナムコワンダーボウル宇部)			
事業目標	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらの行事の実施			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	5事業	5事業	6事業	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・学校から地区子ども会に所属していないこを、すくい上げる形で募集して業を実施した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・学校からの参加者が50人を超えており、子ども会に対するニーズはある。 ・特に低学年の参加率が良く、各事業でも半分以上は1～3年生の低学年であった。 ・新しい形の子ども会の運営方法として軌道に乗せていきたい。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・学校募集した方への連絡手段。(現在はLINEグループを活用) ・会費+固定費+行事参加費での運営方法では金銭的に厳しい。 ・校区を超えた活動ができるように学校運営協議会を活用していけるとよい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区
人権教育推進委員協議会

事業名	9	人権教育の推進事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	65,500円		助成金充当額	35,500円
事業対象者	藤山地区住民 学童クラブ		参加人数	182人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・人権学習会(学童2回 地区2回) ・人権教育推進大会は中止。代替えとして「人権だより」発行(小、中学生の作文及び標語掲載)			
事業目標	数値目標		令和4年目標	令和4年実績
	人権教育推進大会、地区学習会		地区学習会	地区学習会 人権だより発行
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・人権推進大会は新型コロナウイルス感染予防対策の為に中止。代替えとして「人権だより」を発行。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍での活動であったが、学童や地区内での学習会を行い、人権意識の高揚に成果が見られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・これまでは、小規模な会場で開催していたが、学校体育館を利用することで蜜を防ぎコロナ対策にも対応していく。 ・毎年、地区学習会と推進大会の参加者募集について、資料を全戸配布している。印刷代を含めた費用が多くかかる。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	② 3
	助成金を有効に活用できましたか		①	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	② 3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区
防犯指導員連絡協議会

事業名	10	地域防犯強化事業			
事業期間	令和4年4月～令和5年3月				
決算額	53,300 円		助成金充当額	44,300 円	
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	100人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・うそ電話詐欺防止の啓発活動 ・全国地域安全期間中の自転車一斉点検 ・無人駅岩鼻駅、居能駅での施錠点検及び朝の一声挨拶運動 ・子ども見守りパトロールの実施 ・藤山中学校正門における挨拶運動				
事業目標	数値目標		令和4年目標	令和4年実績	
	5事業		5事業	5事業	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍であったが、高齢(シニア)の学習教室でチラシを配布し、うそ電話詐欺の手口等の啓蒙活動を行った。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・居能駐在員と協力することで、高齢者の意識づけが少しずつ高まってきたと思われる。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・「自分だけは騙されない」と思っている人が多い。今後も地味ではあるがシニアの学習会に参加し藤山地区民が被害に遭わないように活動をしていく。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	②	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会藤山支部

事業名	11	生活環境・保健衛生向上事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	385,307 円		助成金充当額	180,197 円
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	420人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・岩鼻公園清掃作業(6月26日、3月5日) ・全市一斉空き缶等回収作業(7月3日、10月2日) ・厚東川清掃作業(10月19日) ・会員研修会(9月11日支部内研修、11月11日支部外研修エコプラザ萩)			
事業目標	数値目標		令和4年目標	令和4年実績
	500人		435人	420人
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍の中であり、感染拡大防止を意識した計画のもと、各事情を実施し環境衛生の向上に貢献することができた。 ・一方で、大半が野外活動で行われるため、天候等の不具合によりできなかった面もある。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・岩鼻公園清掃及び空き缶回収事業は長年の歴史がある。地域住民の理解と関心が高く、常に一定程度の参加が得られる等の、地域に根付いた環境美化活動となっている。 ・厚東川清掃は、取組を開始してから4年目となるが、近年プラスチックゴミ公害が叫ばれる中、地域でできることは率先してやろうという意識が年々高くなっている。 ・清掃事業は、大人はもとより小学生から大学生まで参加する等の、環境衛生に対する理解が浸透している。 ・研修事業に関しては、コロナ禍にあっても学習意欲が高く多くの参加者があった。 ・新規事業として、外部から講師を要請した支部研修(座学)を実施し、知識向上に努めた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・支部活動は一定の成果を収めているが、活動については体力と余暇が必要であり、全地区住民が参加することは不可能であるが、少しでも多くの参加者が増えよう情報発信の強化が求められる。 ・地域住民の環境衛生向上のため、チラシ配布等の方法による啓蒙活動に努め家庭に居ながら知識の習得ができる事業展開を目指したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区ふれあい運動推進員
会

事業名	12	子ども110番の旗を設置する事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	68,380 円		助成金充当額	28,780 円
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 定例会開催(毎月第2水曜日) ・ 月2回の街頭補導の実施 ・ 岩鼻駅、居能駅の自転車置場に整理整頓と駅の清掃 ・ 講演会「こどもの虐待かな?と思った時、あなたにできる事」開催(7月28日)			
事業目標	・ 新柄コロナウィルス感染拡大の影響をみながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	14事業	14事業	14事業	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 街頭補導は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個々の活動となった。 ・ 講演会が開催できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 街頭補導の声掛けで、子ども安心安全に務めた。 ・ 無人駅(岩鼻駅、居能駅)の環境整備に努めた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 現、ふれあい運動推進員は全員が仕事を持っているため、日中の活動ができない。日中の活動ができるふれあい運動推進員を募っていく。 ・ 子ども達とのコミュにケーションを今以上に図り、子ども達の健全育成に努めたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③